

# ロードス島戦記

Record of Lodoss War





# ロード

いよいよ発売日が迫ってきた『II』。待て序盤に登場するミッションをくわし高山さんからのメッセージもあるし、

別冊付録 ロードス島戦記

## CONTENTS

- 「盗賊ギルドの残党狩り」完全攻略 ..... ④
- 水野良かく語る..... ⑦
- 「古代王国の廃墟の探索」完全攻略 ..... ⑧
- 「フレイムへの長い道」完全攻略 ..... ⑩
- 高山浩かく語る..... ⑪
- 「青竜の島」完全攻略..... ⑫
- 隠されたミッションを探せ！ ..... ⑭
- 「ロードス島戦記-灰色の魔女-」..... ⑮
- OVA特報 ..... ⑰



ゲームデザインを担当

### 高山浩の制作裏話

「ロードス島戦記-灰色の魔女-」が発売されてから約3年。ロードス島の世界も、小説やアニメなど、どんどん広がり続けています。パソコンゲームのスタッフも、ようやく「灰色の魔女」の移植を終え、続編の発売にこぎつけることができました。これも、熱心なロードス島ファンのみなさんのおかげであります。

本来、ロードス島というパソコンゲームは、テーブルトークRPGから生まれたゲームだということは、みなさんご存じでしょう。ですから、ほかのパソコンRPGゲームとは一風変わったゲームになっています。小説、アニメなど他メディアへの広がり、強力なキャラクター性などがそれぞれですが、根本となっている精神は“プレイヤーが物語をつくっていく”ということです。

RPGとはゲームマスターとプレイヤーが協力し、ひとつの物語をつづっていくもので、決して映画のように美しいストーリーを鑑賞するだけのものではないとわれわ



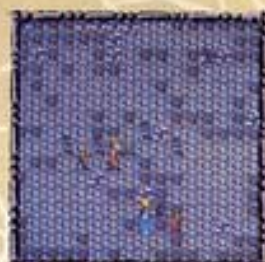
タクティカルコンバット

名場面  
ピックアップ



#### 盗賊ギルドの残党狩り

フォースによって解散させられてしまった盗賊ギルドの残党たちが、何やら企んでいるらしい。そこでパーティが彼らのアジトを強襲することになった!



#### 古代王国の廃墟の探索

ライデン近くの廃墟に住むモンスターに、村人がさらわれるという事件が相次いだ。原因の究明と、モンスターの排除を依頼されたのだが……。

# ス島戦記

## 五色の魔竜

ち切れないみんなのために、この付録く紹介することにしよう。水野さん、もちろんOVA情報もバッチリだぞ!

れは考えています。ですから、パソコンがゲームマスターのRPGをつくったつもりです。パソコンは、人間のゲームマスターようには融通がききませんが、人間よりも優れた点も多くあります。多くのデータや複雑な計算を正確におこなうことができますし、パソコン相手だとひとりでも遊ぶことができます。

「五色の魔竜」のスタッフは、みなさんが物語をつくるお手伝いをしているにすぎません。みなさんが遊ぶキャラクターたちも、リプレイ第3部の連中を用意していますが、いったん彼らで終了したら、自分たちでキャラクターをつくって遊んでみてください。シナリオ、システムとも、「灰色の魔女」から大きく成長した「五色の魔竜」をお届けいたします。

さあ、このゲームマスターのもと、みなさんが、それぞれのロードス島物語をつくっていきましょう。



#### フレームへの長い道

スレインからカシュー王あての密書を預かったパーティ。だがフレームへ行く途中で、ダークエルフの集団に取り囲まれてしまった!



#### 青竜の島

エイブラの持つ祭器を求めて、青竜島に渡るようになったパーティ。ライデンからガレー船に乗ったのはいいが、海上で敵の船と遭遇してしまったのだ!



#### サブミッション

商人たちを目的地に送る途中、モンスターに襲われてしまった! この「隊商の護衛」をはじめ、いくつもの隠されたミッションも存在しているのだ。



## 第2のミッション

# 盗賊ギルドの残党狩り



▲フォースを救うため、盗賊のアジトに潜入するのだ!

入門用の3つのうち、中級編とあるのがコレだ。さすがに初級編とちがって、レベルが低いとクリアはむずかしい。しかしSNPCも登場するし、やる価値は十分にあり!

# 「盗賊ギルドの残党狩り」完全攻略!

## フォースを救出せよ!

フォースによって解散させられた盗賊ギルドの残党たちが、「紅い波亭」という酒場をアジトにして、ひそかに集まっていることが判明した。しかもフォースは彼らに捕まってしまい、いまふたたび盗賊ギルドの暗躍がはじまろうとしている。そんなことになるまえに、首謀者を捕らえ、フォースを救出しなければならない。「紅い波亭」に潜入して、悪の根源を断つのだ!

入門用のうちでも中級編というだけあって、もっともプレイされることの多いミッションだろう。初級編をクリアして意気あがるパーティには、ちょうどいい腕だめしになる。初級編をクリアしていなくても、フィールドで戦いすぎてレベルが上がっているようなら、このミッションからはじめるのもいい。いきなり中・上級からはじめてやるぜーという、RPG慣れた人もいるかもしれないが、いくらなんでもレベル1で中・上級に挑むのは、無謀というものだ。まずはレベルを上げることが、勝利への近道だぞ。

## 第1のミッション

### 「封じられたゴブリン退治」の復習



10年前に封印されたはずのゴブリンの巣に異変が? 封印を解き、ゴブリンの巣へと突入したパーティ。彼らのまえに現れたのは、突然異変をとげたゴブリンたちだった。



▲謎を解くため、10年ぶりにゴブリンの巣の封印は解かれた



▲変異したゴブリンの親王ジョウゴブリン。気持悪いぞ!

### ミッションが終わったらスレインに会おう



▲ミッションはスレインを基点として、もらうことになっているのだ



▲残っているミッションからひとつ選んで決定。今回は盗賊退治だ!

「紅い波亭」に潜入せよ!

## 「紅い波亭」潜入ファイル



▲「とりあえす」問題の「紅い波亭」へ



▲ガラのわるそうなヤツばかり。怪しい



▲話しかけたらケンカになってしまった



▲戦闘開始。こっちがたんでやるぜー!



▲やばい、おまわりならぬ衛兵が……!



▲怒るスレイン。すみません軽率でした



# これが「I」のダンジョンだ!



▲今度は昼間に「紅い波亭」に潜入

▶まずは周囲を明るくせば、「コモンマジック」の「ライト」を一度唱えればOK



## ダンジョン内生活の知恵

秘密の通路を通して、「紅い波亭」の地下へと足を踏み入れたパーティ。さっそく調査をはじめたいが、いかんせん周囲は真っ暗。まずは「ライト」の呪文あたりを明るくしよう。周りが見えるようになったら、つぎは徹底的に調べまくること。一見何も無いように見える部屋でも、奥まで行ってみるとアイテムが落ちていたりする。めんどくさくても、すべての場所を歩き回る習慣を身につけよう。

ここに限らず、ダンジョンを効率よく調べるには、先に上げた「ライト」や、かくし扉を見破る「デテクション」、解錠の呪文「アンロック」などのコモンマジックが必要不可欠だ。早いうちに覚えたほうがいいぞ。



▲薄暗いダンジョン内を進むパーティ。方向感覚を見失わないよう、注意しよう  
▼ただっぽい部屋のすみに酒樽が、なんでこんなところにおいてあるんだ?



▲扉の前に立つ。カギはかかっていないようだが、モンスターの気配が...?  
▼カベに小さなカギ穴を発見! 先に行きたいが、カギはいったいどこに!?

ダンジョンは  
すみすみまで  
マメにチェック!



## ダンジョンには仕掛けがいっぱい!



▲怪しいところがあったらすぐに調べよう。どうしてこの樽だけ空っぽなのか



▲さりげなく積み上げてあるが、なにか隠してあるような雰囲気だぞ

### セッティングタクティカルだ!



▲こんなところに狼が! 盗賊たちが番犬がわりに飼っているのだろうか



▲自動的にタクティカルコンバットへ作戦をよく考えて、迎え撃て!



## 小番頭戦記①

「五色の魔竜」の製作が決まって、スタッフがまず悩んだのがNPCの選択だ。NPCとは、「灰色の魔女」でのバーンたちのように、あらかじめ用意されたキャラクターたちのことだ。もちろん候補はリプレイ第2部のオルソンたちと、リプレイ第3部のスパークたちだ。オルソン「順番からいえば、絶対オレたちだ!」スパーク「何をいう。時代はすでにわれわれのものだ」バーン(小さな声で)「やっぱり、ロードスの平和はオレが守る! んじゃないだろうか?」なんていう会話が合ったかどうかはとにかく、シューティングスターなどのエンシェント・ドラゴンや、魂の水晶体などの祭器をめぐるストーリーになることから、リプレイ第3部の連中が勝利した。といっても、オルソンたちもちゃーんと登場するから、剃刀なんか送りつけないように。



# 長いダンジョンを抜け シーフをやっつける!

## フォースはどこに!?

ダンジョンの奥には、フォースの捕らわれている牢屋があり、さらにその先にはシーフたちを牛耳っているマスターシーフの部屋がある。スレインは首謀者を捕らえるようにいていたが、必ずしもそうする必要はない。フォースを救出するだけでも、ミッションは達成されたことになる。逆に、フォースを救出せず、マスターシーフを捕らえるだけでもOKだ。ただ、フォース救出とマスターシーフ捕縛の経験点は別々なので、できれば両方やりとげて、ガバッと経験点をかせぎたいところだ。

いちばんいいやり方は、まずフォースを助けることだろう。彼はその後SNPCとしてパーティに加わってくれるので、より強力になった戦力でマスターシーフとの戦いにのぞむことができるのだ。

## マップもどーんと初公開!

マッピングはどうもニガテという諸君のために、早くもダンジョンのマップを公開してしまうぞ! とはいっても、じつは入門用ミッションのダンジョンは、どれもマッピングなんていないシンプルなものばかり。少し歩き回れば、すぐにセッティングタクティカル(ある場所で強制的に発生する戦闘)にぶつかるので、帰り道さえおぼえておけばなんとかなるぞ。

しかし、ダンジョンそのものの構造は小さくても、トラップや隠し扉はしっかり存在している。「こんな序盤のダンジョンでそんなのありかー」といいたくなるが、注意していれば発見できるので、文句をいっていても仕方がない。そのかわり、宝物やアイテムなども置かれているので、できるかぎりふんだくってこよう。序盤はとくにお金のやりくりで苦労するので、こうした収入を活かして、一刻も早く装備を整えていきたい。

### ●ワンポイントアドバイス

このダンジョン出てくる敵は素早いヤツが多い。白兵戦や場所にかかるタイプの魔法は不利だ。「エネルギーボルト」などの必殺呪文を使おう!

## セッティング タクティカルだ!

ミッションの成否を決めるのは戦闘だ。シーフたちを倒さずしてフォース救出はありえない。ここばかりは魔法大放出でいくべし!



問 ▶ 盗賊の下ツツ端との戦  
これは素勝ベース

を奪きこんでの戦闘だ

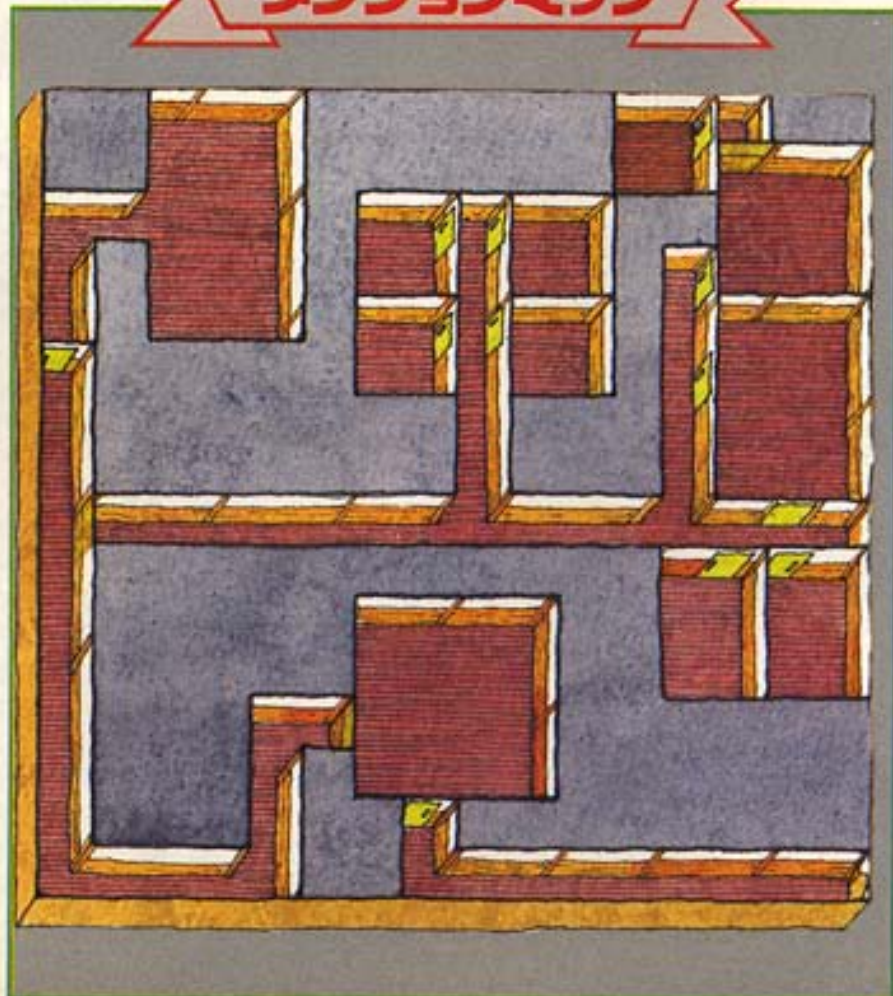
## ついに救出!!

牢屋に閉じ込められているフォースを発見! シーフたちを倒したときに手に入れたカギが、ここで役に立つというわけだ。この後はSNPCとしてパーティに加わってくれる。別れるまでたっぷり働いてもらうとしよう。



▲まるっきりやつれていないフォース。少しはうれしそうな顔をしてくれ

## 「盗賊ギルドの残党狩り」 ダンジョンマップ





小説版

ロードス島戦記

水野良かく語る

いよいよ最終部へと突入した小説版。気になる今後の展開について、『ロードス島戦記6』を書き上げたばかりの水野さんに語っていただきましょう。

座敷牢に入れられた若旦那です(笑)。6巻は12月発売予定です!



ファン注目  
これからどーなる?

5巻のあとがきに「(最終部は)もしかしたら3分冊になるかもしれません」と書きましたが、6巻を書き終えた現在の手応えとしては2分冊ですみそうです。

野生時代をご覧になった方ならご存じのように、6巻はリプレイⅡの途中までのエピソードで構成されています。最終部にきてなお、新キャラ(スパークたち)がぞくぞくと登場するだけに、作者としてはビクビクしている部分もあるのですが(笑)。でも、リプレイで書いて気に入っているキャラクターたちですから、なんとかうまく書いてあげたいですね。ちょっとだけ出すつてのはしたくないです。

7巻の内容についてはずいぶん前から構想がありましたから、それを文章にしてください。もちろん、プロットをまとめる作業——物忘れていないかとか(笑)、細かいチェックをやり直して、うまく小説になるようにまとめていく作業——もこれからやっていくのですが、いずれにせよ、各キャラクターごとの絡みもしっかりと描いていきたいと思っています。タイトルに「戦記」という言葉が入っていますが、大きな戦いの歴史と同時に、各キャラクタ

ーごとの歴史もしっかりと描きたいですからね。エンディングに向けて、読者のみなさんにも納得していただける形で決着をつけなくては……。

7巻は、たぶん来年早々にも野生時代に発表できると思います。

リプレイ版もあるぞ!

「ロードス島戦記」の原点! 単行本は本誌連載バージョンからゲームシステムを変更してプレイし直したものの。



「RPGリプレイⅠ」ロードス島戦記



「RPGリプレイⅡ」ロードス島戦記



「RPGリプレイⅢ」ロードス島戦記



カセットブックも発売中!

音だけによるドラマ。「眩惑の魔石」「宿命の魔術師」「魔獣の森」「妖精界からの旅人」の4巻が発売中!



「ロードス島戦記 1巻」カーラとの戦いを描いた「ロードス島炎の魔神」。フレイルでバーンが見たものは? シュラム登場!



「ロードス島戦記 2巻」ロードス島戦記2。火山山の魔竜(上)。「ア



「ロードス島戦記 3巻」ロードス島戦記3。火山山の魔竜(下)。「魔



「ロードス島戦記 4巻」ロードス島戦記4。王たちの聖戦。エトたちとつての聖戦とは?



「ロードス島戦記 5巻」ロードス島戦記5。エトたちとつての聖戦とは?

グッズ情報(テレホンカード)

OVA、コミックなどロードスの広がりほとんどまることを知らない。その影響が、発売されているグッズも数多いぞ。



「出陣格闘く、オルソンほかの共演」(1)



「OVAのバーンとティードリットです」(2)



「結城信雄描くコミンオリジナル」(3)



「OVAのエンディングから」(4)

「出陣格闘軍3枚組」(5)

※上のテレホンカードには、絶版になっているものがあります。①、②、⑤はもう入手困難になっています。③はコンプティークのプレゼントで運が良ければ当たります。④は現在、KMOのオリジナルグッズの通信販売で手に入れることができます。KMO ☎03-3221-9381



### 第3のミッション

# 古代王国の 廃墟の探索



扉を守るようにゴーレムが立っている。ほろか  
目の命令を忠実に守り続けているのだろうか

1	Mer Lv: 4	正業	MP: 100	HP: 100
2	Mer Lv: 4	正業	MP: 100	HP: 100
3	Mer Lv: 4	正業	MP: 100	HP: 100
4	Mer Lv: 4	正業	MP: 100	HP: 100
5	Mer Lv: 4	正業	MP: 100	HP: 100
6	Mer Lv: 4	正業	MP: 100	HP: 100

入門用ミッションは3つ  
のうち2つまでしかひき  
うけられない。すでに初  
級と中級を選択してしま  
っていたら、この上級編  
にあたるミッションはブ  
レイできないぞ。

▲栄華をきわめた古代王国の廃墟。そこには何が？

## 「古代王国の廃墟の探索」完全攻略！



▲これは上級用のミッションだ



▲スレインから事情をじっくり聞く



▲川をわたり、南西にある廃墟へ



▲ここまできたら入るしかない！

### 村人を襲うモンスターの 謎を探れ！

ライデンの南西にある古代王国の廃墟。最近、そのモンスターによって村人がさらわれるという事件が、相次いで起こった。なぜモンスターは突然村人をさらいはじめたのか。廃墟のなかでどんな変化が起こっているのか？ その謎を究明し原因を取りのぞくのが、パーティの使命だ！

ここのダンジョンもさほど広くないので、調べるのにそう時間はかからない。ただ上級編というだけあって、モンスターの強さは初級・中級ミッションの比ではない。そのいい例が、ストーンゴーレムだ。古代王国時代の宝物を守っているらしく、ある部屋の前にくるとパーティに襲いかかってくる。やたら強いので、心してかからないと痛い目にあうぞ。しかし、ここさえなんとか切り抜ければ、守護されていた宝物も手に入るし、さらに先の部屋に進むこともできるようになる。そして、ダンジョンの奥へと進んだパーティのまえに、不気味な気配が……。おもいきって開けた扉の向こうにいたのは、これまた強敵のダークエルフ！ あんまり戦いたくない相手だが、どうやらコイツが誘拐事件の元凶らしい。ゴーレム同様、叩き伏せてやろう。魔法を使うやっかいな連中なので、速攻でかたづけるのがナイス。

### 廃墟をあちこち 歩きまわろう



▲古代王国の廃墟といっても、いわゆる普通のダンジョンだ



▲どこも似たような風景。マップングしないと迷ってしまうかも



▲扉があれば開けたくなるのが人情だ。トラップはあるまいな

### 襲いきるゴブリン！



▲廃墟内はガランとして、生き物の気配などないように見えたが…



▲突然ゴブリンが出現！ あわてて防戦するパーティ



▲立ち直ればゴブリンなど敵じゃない。あわれだから助けてやるか

### 扉の向こうには 待ちうけるのは



▲扉の向こうにただならぬ気配を感じる。なにかいるぞ

▼中にいたのはダークエルフ。魔法を使う強敵だ！



▲こうなったら、シャーマンの召還魔法で味方を呼んでやる！

▼ドラゴントゥースウォリアーを召喚。ダークエルフを倒せ！



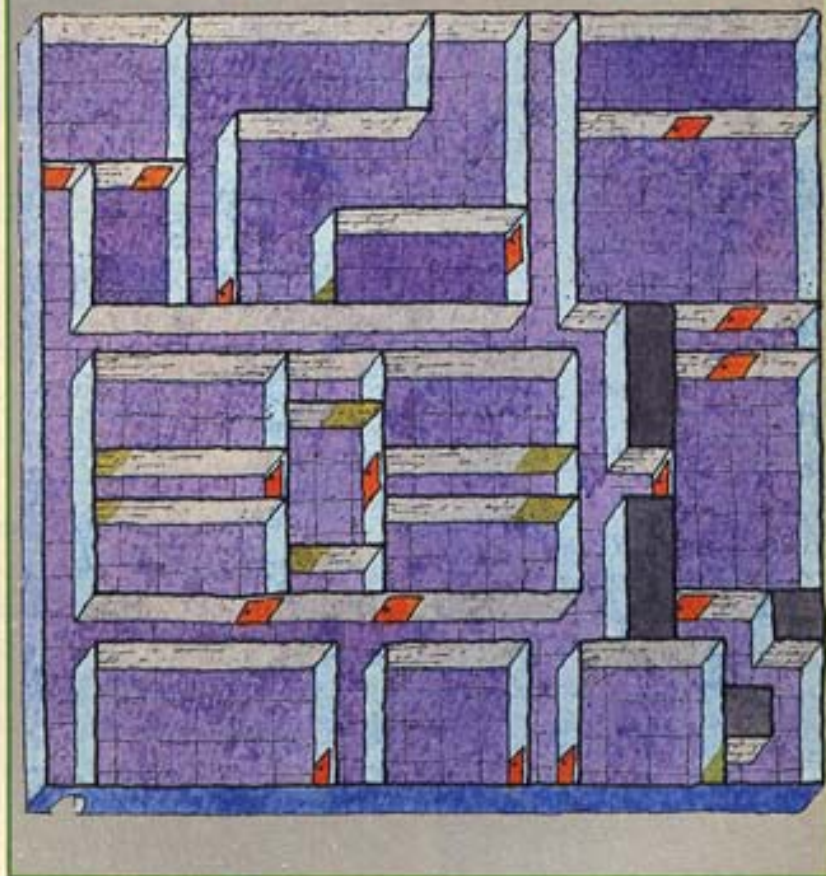


## ダンジョンをさまよう パーティが見たものは!?

かつては古代王国の建造物だったダンジョン。荒れ果ててしまっているとはいえ、内部はまだまだ重厚さをとどめている。そして、魔法文明の名残りであるトラップもまた健在だ。スカウトの魔術師のレベルが低いと、苦勞することになるだろう。とくにトラップの解除は、スカウトのレベルと相談して、必要最低限の数だけやるようにしよう。はずす必要のないトラップもあるから、好んで危険をおかすことはない。

うまく立ちまわってトラップの先へ進めば、たいていの場合何かしら報酬がある。序盤では手の届かない高価な武器やアイテムが手に入ったりするのだ。ここで入手できるライトスタッフは、ライトの呪文が不要になる貴重品!

## 「古代王国の廃墟の探索」 ダンジョンマップ



### 扉にも罠が……!?



▲罠を解除するのはスカウトの役目。失敗すると悲惨だぞ

### 毒針をうけてしまった



▲解除に失敗すると、こういう目にあう

### でた ゴーレムだ!



▲宝の部屋の番人。さすがに強い!

## CONGRATURATION

入門用の3つのミッションのうち、2つをクリアすると、パーティは一人前の冒険者として認められる。「手にあまるようなら報告してください」などといっていたスレインも、ようやくパーティの実力を評価してくれたらしい。というわけで、ウォームアップはここまで。これからは、いよいよ本格的なミッションをまかされることになるのだ。キミのパーティがロードス島の命運を変えるかもしれないぞ!



▲ミッションをこなし、レベルも上がった。そろそろ入門編は卒業だ



▲ミッションはより重要なものに、一人前の冒険者として活躍するのだ!



## 小番頭戦記②

「灰色の魔女」でフレームの宿屋で起こった殺人事件を憶えているだろうか。宿屋で客が殺されて、いきなりアドベンチャー・ゲームになった事件のことだ。

ああいうのはゲーム・イン・ゲームと呼ばれていて、ちょっとしたアクセントになるものだ。本筋とは直接関係なくても、ロードス世界の雰囲気も味あわせてくれる。

ここまで話せばおわかりかと思うが、「五色の魔竜」でもしっかりとゲーム・イン・ゲームが用意されている。場所や内容については、ハミングバードソフトのハイパー河内氏から強く口止めされているのだが、せっかくの別冊付録だし、ちょっとだけリークしてしまおう。

準備されたゲームは複数。種類もアドベンチャーだけではない。(つまりアドベンチャーもあるってことだね)。そのうちのひとつは、前回の続編になっている(ということは、場所……で、……も登場するわけか)。あ〜いっちゃった、いっちゃった!



## 第4のミッション

# フレーム への 長い道



▲おなじみのカシュー王も登場！

入門用ミッションも終わり、レベルもそこそこ上がっているだろう。本格ミッションの手はじめはフレームへ密書を届けること。舞台も広がり、重要度も増してきたぞ！

# 「フレームへの長い道」完全攻略！



## いよいよ本格的な ミッションに突入！

パーティに与えられた最初の本格的任務は、スレインからの密書をカシュー王に届けること。なんでも極秘の重要任務だという。うーん、緊張するな。

スレインから密書を受け取ったら、ライデンを出て、南東にあるブレイドの街に向かう。ここにカシュー王の居城であるアークロード城があるのだ。途中、ランダムエンカウト(フィールド上で偶然的に遭遇すること)があるかもしれないが、それ以外は何事もなくブレイドに着けるだろう。密書の内容は「リードランゲッジ」の呪文で読めるので、届ける前に目をとおしておくのもいい。カシュー王に無事密書を渡すと、折り返しスレインへの返書を頼まれる。よほど重要なのか、カシュー王は部下の騎士スパークを護衛につけることまでしてくれた。心強い見方を得たところで、ライデンへ帰るとしよう。楽勝なミッションだと思ったが、その帰り道、とんでもないことが……！

## ブレイドにて

この街で用があるのは、アークロード城のみ。ほかに見る場所はないぞ。

### ●アークロード城へ



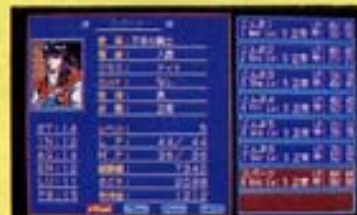
▲スレインからの使いとわかると、すんなり通してくれる

### ●カシュー王に謁見すると？

▶密書を渡すと、折り返しに返書を頼まれる。カシュー王はこの重大性から、部下のスパークをパーティに加えることに、ナイトの増員はうれしい



### ●スパークがSNPCに参加



▲不幸の代名詞である彼だが、戦力となることはまちがいない

## カシューに会ったパーティを狙う者

街道を歩いていると



▲返書を持ってライデンに戻るパーティ。気楽な調子だが……

いきなり襲われた！



▲ダークエルフたちと戦闘に。スパークの初舞台だ！

手紙をねらったのか？



▲どうも待ち伏せされていたようだ。この返書のせいなのか？

## ロードス島に危機が!?



▲無事スレインに返書を渡すことができた。しかしそれによりパーティは、さらなるミッションをうけることに……！



テーブル  
トーク版

ロードス島戦記

# 高山浩かく語る

パソコン版のゲームデザインをされた高山さんは、「コンパニオン」の作者としても有名です。ここではそのテーブルトーク版について語っていただきます。

ロードス島商店  
の小番頭あ、  
あっしのことで  
い!



▲「ロードス島戦記コンパニオン1」。「ロードス」のためにグループSNEが産み出した、テーブルトークRPGのルールブック



▲「ロードス島戦記コンパニオン2」。「1」よりも上級クラスの冒険者を対象としたルールブック。ちなみにレベル13のキャラまでつくれる

## 本誌連載 リプレイを 振りかえって

ロードス島戦記のリプレイがコンプティークに連載されていたのは結構昔の話になっちゃったけど、いまま「クリスタニア」の連載が続いているから、やってることは変わらない。夕方になるとグループSNEの事務所にメンバーが集まってきて、わいわいがやがやとゲームを始めるのだ。その様子をテープに録音しておいて、水野良がリプレイにするって寸法だ。

テープから起こすといっても、ゲームの様子をそのまま載せているわけじゃあない。口数が多いグループSNEのメンバーのこと、それはもう世間話からゴシップまで豊富に録音されている。そういったものを削って発表されているわけだ。なかには文字にするには危険な話題や（う～ん、ミュルミドンの帝国とある国の類似とか発表できないよね）、オタッキーな話題なんかはほとんど削っている。

それから、「どうやったら、あんなふうによくプレイできるんですか?」という質問をよくされるんだけど、削られた部分でとんでもない失敗をしてたりするから安心してほしい。テーブルトークのRPGは、友だちと無駄話をしながらっていうのがいちばん楽しいもんね。

## ファン注目 これからどーなる?

ロードス島コンパニオンも2まで発売されたけど、大会なんかで遊んでますよといわれると本当に嬉しい。とくに初心者が多いようで、ロードス島でテーブルトークRPGの楽しさを知ってもらえればデザイナーとして本望なんだ。

今後の展開としては、シナリオ集やロストマジック集など、いろいろ考えているんだけど、何からでたらいいと思う? そのあたりを編集部まで知らせてくれると、ご期待にそえるはずだ。

### テーブルトーク大会も 大盛り上がり!

読者がプレイヤーとして参加できちゃう大会も何度か催されているのだ!



▲高山さんはもちろんのこと、安田さん、水野さんといったグループSNEの豪華な面々がゲームマスターをしてくれることも!

## グッズ情報 (フィギュア編)

ロードスの各キャラクターを立体的につくってみたらどうなるのか? で、フィギュアです。豆ディードとスラリとしたディードのどちらがかわいーでしょうか?



▲ズラリと勢ぞろいしたメタルフィギュアのみなさん。テーブルトークをやるときなどには、ぜひ使ってみてくださいね



▲すっかり丸くなった  
しまったディード

▲こちらがより本物に近い(?)  
ディード



第5のミッション

# 青竜の島



▲このミッションは、水竜エイブラが住む青竜島が舞台

アシュラムが祭器を集めているという情報を入手したスレインは、パーティにエイブラの持つ祭器を持ち帰るよう依頼するが……。『海戦』も用意されているミッションだぞ。

## 『青竜の島』完全攻略!



▲重要なミッションをまかされるのは信頼されるようになった証だ



▲冒険者ギルドにはスレインだけでなくレイリアもいるぞ



▲レイリアの話に出てくるカストロール王国の姿



▲準備が整ったら、さっそくライデンの港へと出発しよう!

### 船出したパーティの運命やいかに!

不穏な動きを見せるアシュラムを追って、エイブラの住む青竜島へと向かうことにしたパーティ。スレインの話では、同行してくれる味方が港にはいるはずなのだが……。

ライデンの港に着くと、メリッサという女性が話しかけてきた。どうやら彼女がその味方らしい。結局、メリッサをはじめとするリオナ、アルマ、イミアナ、クリスという5人のギルドの先輩がパーティに同行してくれることとなった。ちなみにこのパーティ、驚くべきことに全員女性なのだ(このパ

ーティがリプレイにも出てきたことを覚えている人も多いと思うぞ)。ひとりでも多くの味方が欲しかったパーティにはとてもありがたい戦力。彼女らにもがんばってもらって、ミッションを成功させよう!

メンバーがそろったところでガレー船「遙かなる旅人」号に乗り込み、青竜島に向けいざ出港! 途中でアシュラムの部下が乗った船に襲われるというアクシデントがあったものの、なんとか無事に青竜島に着くことができたのだ。

### 船上の戦いもあるぞ!

青竜島に向かう途中で、敵の船と遭遇してしまったパーティたち。こうなったら敵の船に白兵戦をしかけるっきゃない! ……というわけで戦っているのが下の写真。操作方法はいままでとまったく変わらないぞ。



▲アシュラムはいないものの、強い相手だ

### これが青竜島だ!!



▲右下に見えるのがパーティのやってきた船着き場なのだ



▲水竜エイブラはこの洞窟に住んでいる。みんな、準備はいいかな?

▼洞窟の入口。「ライト」の魔法を使わないと、真っ暗なままだぞ



▼なんと先輩パーティがアシュラムたちにやられてしまった!



▲洞窟内はまさに自然のダンジョン! エイブラはどこにいるのだろうか?



▲分かれ道でふた手に分かれることにならわかれは左側を調べることにしよう



▲ついにエイブラを発見した。しかしそこにはアシュラムの姿も……







## サブミッション

# 隠された ミッションを 捜せ!



▲サブミッションを捜す楽しみも、ここにもあるかな?

ゲームをクリアするのに避けてとおれないメインミッション。しかしそれとは別に、隠されているミッションも存在する。ここではそのサブミッションについて紹介しよう。

# きみは体験できるか? お楽しみのサブミッション!

## サブミッションとは?

このゲームには、ある決まり(“ギルドマスターに会う”など)にしたがって発生するメインミッションだけでなく、ランダムに発生するミッションも用意されている。それがサブミッションでメインミッションと同じくらい数が用意されているんだ。ただしランダムといっても「マップ上を歩いていると突然ミッションに突入する」というようなものではなく、特定の場所で、ある行動をとったときに初めてランダムで発生するようになっているんだ。あるミッションは酒場で話しかけることによって発生し、またあるミッションは宿屋の主人から依頼される、という感じだ。ちなみに一度クリアしたミッションは二度と登場しないぞ。

## サブ ミッション

## 隊商の護衛

ライデンの市場で商人から依頼されるのがこのミッションで、なんどでも引き受けられるのだ。ライデンからブレードやアランといった都市まで隊商の護衛をするだけなので楽な仕事といえるだろう。ただし、テレポートの魔法を使って送り届けようとしても失敗するので注意!



▲町までの距離によって、報酬も当然変わってくる。(写真の数値はダミーです)



▲目的地に行く途中でダンジョンに入ったりするとミッション失敗となるので注意しよう

## もちろん護衛中に襲われることも /



▲ミッションを引き受け、目的地を目指すパーティ。道中で何もなければいいのだが



▲いきなり、モンスターのロックが襲ってきた! うまく撃退しないことには……



▲馬車は障害物になる。ちなみに隊商のメンバーはグラフィックで表示されない



▲パーティがひとりでも生き残れば、ミッションをクリアすることが可能だぞ

## サブ ミッション

## 信心の問題

パーティが宿屋で休んでいると、夜中に宿屋の主人から依頼されるミッション。なんと、プリーストがひとりだけで挑む冒険なのだ。



▲夜中につつせりと依頼されるのだ

## これは幽霊か?

▶というのはウソ。彼は宿屋の主人だ。寝てる所に来たからこんな横顔になったわけ





サブ  
ミッション

## グリフ族の宝冠

青竜島に住んでいるグリフ族は、いわゆる鳥人間と呼ばれる種族である。そんな彼らが宝物にしていた「宝冠」が何者かに盗まれてしまった。そこで、たまたま村に立ち寄ったパーティたちにグリフ族の長が助けを求めてきたのだが……。『宝冠』を奪回するため、エイブラの住む洞窟に向かうというのがこのミッションの目的だ。このミッションを遂行している間はグリフ族の長の家でタダで休憩できるという特典があるので、これを十分に活かしたいところだね。



ここはグリフ族の村です。入りますか?

はい

いいえ



### グリフ族って?

◀青竜の島に住んでいる鳥人間。『宝冠』を奪われて困っているの、ぜひとも助けてあげよう



### 休憩できるようになる

▶長の依頼を受けると彼の家で休むことができる。何度でも休ませてくれるので、危なくなったらここへこよう



### 宝冠を捜せ!

◀ここはエイブラが住んでいる洞窟のなか。ダンジョンと化しているので、迷わないように慎重に進もう

## サブミッションの見つけ方

ランダムに発生するだけにすべてのサブミッションを見るには、かなりゲームをやりこまないと無理だろう。もしかしたら一度のプレイだけでは不可能なのかもしれない。とはいえ、できるだけ多くのイベントを見たいのが人情というもの。そこでこのコーナーでは、ひとつでも多くのサブミッションを見つけるための方法を考えてみることにしよう。

サブミッションが発生するには、大きく分けていくつかのパターンがあるようだ。「隊商の護衛」や「信心の問題」のように、町の施設を利用したり村人に話しかけることによって発生するもの。「グリフ族の宝冠」のように隠されている(!?)村を見つけることによって発生するもの。これらのパターンで発生するものは、まず間違いなくほかにもあるだろう。これら以外にもパーティ内にいるNPCがカギを握っているサブミッションもあるらしい。NPCが参加することによって発生するものならば、すでに定員いっぱいのパーティには発生しないということになる。このあたりのことを頭に入れてプレイすると、よりゲームを楽しむことができるだろう!



## 小番頭戦記③

『灰色の魔女』では、バーンたちが喋り出す場面がいくつかあった。

ゴブリン退治のはずだったのに、ダークエルフやホブゴブリンが出てきたのを見て、  
バーン「ゴブリンだといってたじゃないか」  
スレイン「世の中そんなもんですよー」  
ってやつだ。

あのときはキャラクターが6人だけだったからよかったのだが、今回はリプレイ1-3までのキャラクターたちがどんどん登場する。となると彼らのうるさいこと、うるさいこと。とくにNPCとして活躍するリプレイ第Ⅱ部の連中なんか、ゲームを寄席だと勤ちがいでいるようで、いたるところで漫才を始めてしまう。何人かが掛け合いて話すんだけど、最初のうちは死んでいても話話し出すんだから、彼らの根性に頭が下がってしまう(発売されるバージョンではそんなことは起こらないからね)。

## グッズ情報 (文房具編)



▲下じき。しっかり勉強してちょ



▲ノート。どの表紙を選ぶかはきみ次第だ



◀クリアケース、メモやプリントをまとめておくのに便利



◀カンペンケースほか。ここまで持ったら、エライぜー!

ファンならだれでも身近にロードスを感じられる物を置きたいと考えるはず。なかでも文房具はいつでも使うものだからチェック!



# X68000版+PC98版で見る

## ロードス島戦記

## 灰色の魔女

# プレイバック

ここで「I」をおさらいしておこう。「II」にSNPCとして登場するバーンたちの活躍ぶりを思い出して欲しい。ちなみにミッションは13種類あったのだ。

## X68000版で見る「灰色の魔女」前半のストーリー

無事にパーティを組んだバーンたちは数々の冒険を経験することになる。暗殺団のアジトに潜入したり、ピラミッドを探索したり、ミノタウロスの迷宮で迷ったり……。カーラからフィアンナ姫を助けようとして逆に捕まってしまったこともあった。前半最大のイベントは、ウォートからワンドをもらうために挑んだドワーフの大トンネルだろう。

### 最初のミッションはゴブリン退治だった



▼ゴブリンといえどもパーティのレベルが低いうちは手強い敵だ。彼が最初のミッションを依頼してくるザクソン村の村長



### ギムの旅立ち

このゲームではキャラを自由に作れるけど、おなじみのメンバーでプレイすることだってもちろん可能だ。最初はギムだけしかいないけど、町の酒場などで残りのメンバーを集めよう！



### X68000版はPC98よりず〜っと進化！

グラフィック解像度の違いもあって、1画面内に入る情報の量が段違いに増えた。そのため操作性が大幅に向上したのだ。これはシステム自体がスッキリと再構成されたことも大きく関わっている(98版の「I」ではコマンドが複雑に階層化されていたため、コマンドによっては余計な手間をかける必要があった)。同時にグラフィック表示部分もX68000用により大きく、よりキレイに変更されたのだ。



### グッズ情報 (その他編)

数多いグッズのなかでも、下の3つはちょっと変わっている。ここまで持っていれば、きみもリッチなロードスおたくになれる！



▲カセットインデックス (アニメイト)



▲カードケース、テレホンカードの収納に (KMO)



▲ジグソーパズル。本屋さんでも手に入るぞ (角川書店)

●ロードス島戦記-灰色の魔女- (X68000版) / 定価9800円 / ハミングバードソフト ☎06-315-8255 ©ハミングバードソフト

●アニメイト池袋店 ☎03-3988-1351

●KMO ☎03-3221-9381 ●角川書店 ☎03-3817-8535



# PC98版で見る 「灰色の魔女」 中盤～後半のストーリー

無事にワンドを入手したパーティは、モスのドラゴンプレスの宿でひと休みすることにした。だが、あろうことが真夜中にアサシンの襲撃を受けてしまったのだ！ なかなか油断のないロードス島ではある。

その後さまざまな出来事があった。ある時はドラゴンプレスの近くにある霧に包まれた不思議な村、ミスティでヴァンパイア相手に死闘を繰り広げ、またある時は自由都市ライデンに停泊している海賊船に乗り込み、海賊どもを退治した。ブレードの宿では殺人事件に巻き込まれて探偵のまねごとをするハメになったし、ファイアドラゴンマウンテンでは強力なプレス攻撃をしかけてくるドラゴンを相手に悪戦苦闘もした。

そうこうするうちに実力と名声を得たパーティは、ロードス島の運命を左右するほど重要なイベントにも関係するようになるのである。カノンの廃墟内での皇帝ベルドとの対決。そして、ロードス島最大の難所、最も広きダンジョンを越えた先に待ち受ける灰色の魔女カーラとの最終決戦……。

はたしてパーティはカーラを倒すことができるのか？ それとも……。

大公開!

## きみは見たか、このシーン



殺人あり

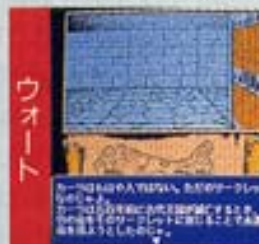
ゲーム画面の上部には、パーティメンバーのステータスが表示されています。

▲ブレードでは殺人事件に巻き込まれる。とある魔法が解決のカギとなるのだが……



ドラゴンあり

▲見よ、ドラゴンのすさまじいプレス攻撃を！ 頭を使った戦闘が要求されるシーン



ウォート

▲カーラの正体を聞いているシーン。彼からカーラの魔法を封じるワンドをもらえる



ファイアンナ

▲戦場のファーン王を心配するファイアンナ。バーンでなくエトに話しかけているのだ



ふたりの英雄

▲6英雄と呼ばれたふたりが剣を交える！ このシーンは見ていることしかできない



最終決戦

▲ルノアナ湖に浮かぶ島にやってきたパーティ。このカーラの館があるのだ



ネクロマンサー

▲カーラを守るべくパーティに襲いかけてくる強敵、ネクロマンサー



出た！  
灰色の魔女！

▲自ら守るカーラが壇上に立っている

### ロードス島戦記福神演

ゲームに登場したグラフィックを利用した「16&25バズル」、自分のキャラを開技大会に参加させることのできる「タクティカル・ゲーム」、ゲーム中に使われていた22もの曲が聞ける「サウンド・ギャラリー」、そして「水野良のQ & A」が入っているお楽しみソフトだ。



▲16バズル。頭を働かせてグラフィックを完成させよう



▲タクティカル・ゲーム。自分のパーティでの参加も可能



▲水野良のQ & A。ゲームや小説のQ & Aが展開される

### PCエンジン版も開発中! しかもCD-ROMだ



▲パソコン版の「1」を元にしてはいるものの、システムやストーリーはかなり異なるものとなりそう。OVAそっくりのビジュアルシーンや声（CDだから当たり前だけど）にも注目!



OVA版

# 決戦！暗黒の島

ロードス島戦記第12巻

マーモ

ドワーフの大トンネルではアース・ドラゴンと、カーラの館ではレイリア・カーラと、そして火竜山ではアシュラムやシューティングスターと壮絶なる戦いを繰り広げてきたバーンたちのパーティ。中でも、何度も危険な目に遭いながら劇的なまでの成長を遂げたバーンを見ていると、リアラを守るために木切れをつかんでゴブリンに対峙していたころが随分と昔のことに思えてしまう。たくましく成長し、実力をつけた彼らは、ついにこの巻で最後の決戦に向けて動きはじめる。目指すは……マーモ本島！



第12巻のパッケージイラストは、金竜マイセン

厳しい冒険の数々を物語るかのようにバーンたちのパーティのメンバーも最初のころと比べてだいぶ変わってしまった。レイリア・カーラとの戦いでは、一度にギムとウッド・チャックを失った。レイリアが新たにパーティに入ってくれたとはいえ、これはあまりにも大きすぎる犠牲であった。その後、誤解が元で知り合ったオルソンとシーリスが行動を共にしたが、現在彼らはパーティから離れ、モスへ向かっている。そして今度はバグナードにディードリットがさらわれるはめに……。

ディードリットがさらわれたのは、いうまでもなく邪神カーディス復活のため。リプレイ版で小ニースが果たしていた「扉」（カーディス復活のためのカギ）としての役割を、OVA版では永遠の命を持つハイエルフ、ディードリットが担っているというわけだ。このへんのちがいを見比べてみるのも、OVAの楽しみ方のひとつだろう。

ベルド亡き現在、バーンたちにとって最大の脅威は、アシュラムでもウッド・カーラでもない。カーディスの力を己のものとし、ロードスを、いやフォーセリアという世界そのものを我が物にしようと企むバグナードこそが最大の敵なのである。マーモ本島にこもり、邪神復活の儀式をはじめようとしているバグナード。バーンら反マーモ連合軍は彼を倒すためにマーモを目指す！

## OVA版 ロードス島戦記 CATALOG

ここでカンタンにいままでに出たシリーズを振り返ってみることにしよう！



### 第6巻 暗黒王の剣

マーモ軍の皇帝ベルドがロードス島征服に向け、ついに行動を開始した！ そのころモスの山中では、ウォートからカーラについての情報を得たバーンたちがヴァリスに向けて馬を走らせていた。



### 第7巻 英雄戦争

ついにヴァリス軍とマーモ軍とが激突した戦いは乱戦となったが、ファーンとベルドが交峙したことにより状況は一変する。剣を収め、両雄の一騎討ちを見守る両軍の兵士たち。はたして勝ったのは？



### 第8巻 戦士の鎮魂歌

カーラの館へと乗り込んだパーティの面々。バーンが、ディードが、スレインがカーラに攻撃をしかけるが、彼女には通用しない。しかし、ギムの魂の叫びを聞いたカーラに異変が起こった……。

### 第1巻 伝説への序章

謎の魔女の正体を調べるべく、ウォートのところへ旅立つバーンたち一行。ドワーフの大トンネルではガーゴイルに襲われたリトラップに引掛かったりとさんざんな目にあってしまうのだが……。



### 第2巻 炎の出発

ギムはニースにレイリアを捜し出して連れ戻す約束をするや旅立ってしまう。一方ザクソンの村では、ゴブリンに襲われているリアラを助けるため、バーンが単身ゴブリンに戦いを挑んでいった。



ついにマーモ本島へとやってきた連合軍。バーンはエト、スレイン、レイリア、そしてヴァリス軍の聖騎士たちとともに先陣隊として戦っていた。ゴブリン、コボルトらモンスターの抵抗も激しかったが、少しずつバグナードのいるファリス神殿に近づいていった。ディードリットを助けだし、バグナードの野望を打ち砕くために……。

一方カシューは船団を率いてマーモを目指していた。マーモに着くまでは何事も起こらないだろうと思われたが、その予想は残念なことにはずれてしまう。水竜エイブラがいきなり襲いかかってきたのだ！ 弓や槍で対抗するも、海での戦いとあって形勢は不利。船を沈められるのも時間の問題と思われた。しかし助けは空からやってきた。ジェスター公率いるモスのドラゴンライダーが、オルソンに託した親書を見て加勢にきてくれたのだった。

そのころファリス神殿では、バグナードが満面に笑みをたたえ、カーディス復活の儀式を執り行おうとしていた。“支配の王錫”を祭壇に突き立てるバグナード。横たえられたディードリットの周りで呪文を唱える魔導師たち……。果たしてバーンたちは邪神カーディスの復活を阻止することができるのだろうか？ OVA版「ロードス島戦記」もいよいよクライマックス！



▲▶カーディス復活のための“罪”であるディードリットはこの衣装をつけ、祭壇に横たえられるのだ！

## 秘 設定資料だ！



## ロードス ビデオ スタッフ ストーリー 傭兵集団物語 V

スタッフルームの王(?)  
BY 渡辺麻実

今回、初お目見えなのだが、仕上げ担当の「みっちゃん」という19歳のお嬢さんがいる。

彼女はなんと霊感少女で、そこら辺に転がっている、ユーレイの霊様が見えたりする。その彼女がいうには、スタッフルームは、まさにユーレイ様方のたまり場なのだそう。なにせ、マッドハウスは事故で有名な青梅街道沿いである。ほんのちょっぴり霊感が強かったりすると、ソロソロひきつれて来てしまうそうなのだ。

かくいう、部屋の隅。今ではないが、かつてスタッフの仮眠の場所であった所では、誰が寝ても、どうも寝覚めが悪かったとか……（何でも、悪夢を見なかったのは、性格の良さに？ 乗のつく原画の田崎氏だけだったらしい）。

みっちゃんがいうには、その隅の枕許にちゃんと女の人が立っているというのだ。確かにウチのスタッフは夢見が悪かったり、寝覚めが悪かったりしたようだが、誰ひとり、その方を見たものがないという。どうも傭兵集団はユーレイにも見限られているらしい。

そんな話を聞いているうちに、ふと、シリーズ前半は、やたら信じられないアクシデントが続いていたのを思い出した。昔が冗談でスレインの難しい表情のカットに「ご……このスタジオは呪われている……」等と書いては遊んでいたが、あながち冗談ではなかったかもしれない。

すさまじいスケジュールの中で、例によって不眠不休の作業が続くのは変わりはないが、それでも近頃は「嘘だろ〜！」と叫ぶようなアクシデントは減ってきているらしい。

夏場だからといって、みっちゃんの話聞いても、誰も動じないというところこそ、どうも我がスタッフはユーレイよりも怖いものを知ってるようだ。つまり、徹夜……運動不足、丸山氏の不気味な微笑み、永丘氏のポーカーフェイス、職業病的腰痛、駐車違反、免許……。

そして何よりも強者集団が一番に恐れるのは、スケジュール以外のなにものでもないだろう。

果たして13話終るまでに何人生き残っていられるか……合掌……。



イラスト/藤田幸久



### 第 3 巻 黒衣の騎士

密偵と間違えられ、マイス砦の牢屋に入れられてしまうバーンたち。誤解を解いたのもつかの間、今度はマーモの急襲に出くわしてしまう。この巻で、ついにバーンたちがそろそろことになる。



### 第 4 巻 灰色の魔女

アランへの入都を拒否されたバーンたちは、ファン王を頼るべくヴァリスへと向かうことを決意する。しかし、短時間でヴァリスに行くためには、危険に満ちた帰らざる森を抜ける必要があったのである。



### 第 5 巻 砂漠の王

フィアン王女をカラから守り抜いたバーンたちは、ヴァリスの聖王宮で楽しいひと時を過ごすこととなった。だが、牢屋に入れられていたナバが、カシュー王に突然襲いかかったのだ。なぜ……？



### 第 9 巻 支配の王錫

いまは亡き皇帝ベルドの遺志を継いでロードス島の征服をもくろんでいるアシュラムが、動き出した。彼はシューティングスターが持っている“支配の王錫”を手に入れるため、火竜山に向かった。



### 第 10 巻 火竜山の魔竜

バーンたちは火竜山目指して進軍していた。そのころアシュラムはすでに火竜山へとやってきており、“支配の王錫”を手に入れていた。そして帰ろうとしたところでバーンたちと出会うのだが……。



### 第 11 巻 魔導師の野望

不穏な動きに見えるマーモに対抗するため、各国の力を集めようとするカシュー王。彼は魔神戦争の悪夢が繰り返される予感を抱いていたのだ。そんなとき、ディードリットがバグナードにさらわれてしまう！





コンプティーク11月号(第9巻 第11号)付録

# ロードス島戦記

●編集人 佐藤辰男 ●発行人 角川春樹 ●発行所 角川書店  
〒102 東京都千代田区富士見2-13-3

© 1991 Kadokawa Shoten/Printed in Japan